科目ナンバリング	U-LAS15 10006 LJ58

授業科目名 <英訳>	地球科学入門 －ダイナミクス Introduction to Earth Science -Dynamics	担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小木曽 哲 防災研究所 教授 大見 士朗 理学研究科 教授 金子 善宏 理学研究科 准教授 大谷 真紀子 理学研究科 准教授 ENESCU, Bogdan Dumitru 理学研究科 教授 佐藤 活志 理学研究科 教授 片山 郁夫 理学研究科 教授 生形 貴男 人間・環境学研究科 准教授 加藤 護

群	自然科学科目群	分野(分類)	地球科学(基礎)	使用言語	日本語

旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）

開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月4	配当学年	全回生	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

私たちが住んでいる地球ではさまざまな自然現象が起きている。科学的な視点からこれらの現象を整理して理解することを目指す。主に固体地球の現象を扱う。長い歴史を経て現在の地球が存在すること、私たちの周辺で起きる自然現象はその歴史の延長線上にあることを意識する機会となればよいと考えている。

[到達目標]

地球科学の話題がニュースなどで出たときにそれをただしく理解するための基礎力をつける。地球と私たちの関係を考える視点に持つ。アカデミックな文章を正確に書けるようになる。

[授業計画と内容]

以下のテーマについて、フィードバックを含め全15回で、それぞれ1-3回の予定で授業を行う。
・地球科学とは（加藤）
・地球の形、地球内部の構造と現象（加藤）
・プレートテクトニクス・地震・津波・火山（加藤）
・日本の歴史と自然災害（加藤）
・地球の歴史、地球の物質（小木曽）
・人間と社会と地球の関係（大見）
学期内に発生した自然現象や履修者のフィードバックを反映させて内容を修正することがある。また順番は前後することがある。

[履修要件]

高校地学をベースとした内容。高校の地学、物理、化学の履修を前提としない。授業中必要になる知識については、自学自習を求める。

[成績評価の方法・観点]

数回のレポートにより評価する。詳細は初回授業で伝える。

[教科書]

使用しない

地球科学入門 －ダイナミクス(2)へ続く↓↓↓

地球科学入門 －ダイナミクス(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

大学レベルの数学や理科を前提とはしないが各自が必要に応じて必要に応じて自習することがよい。各自の関心に合わせて野外を歩いてみる、学外の施設を見学してみる、などをお勧めする。レポート課題には授業外の活動を必要とするものが含まれる予定である。

[その他（オフィスアワー等）]

授業内容の一部は全学共通科目の他の地球科学（文系向、理系向）科目と重複する。

[主要授業科目（学部・学科名）]